

# 大森第一小学校



## 目指す学校像

☆一人一人の子どもが生き生きと学校生活を楽しめる学校

☆地域に愛着と誇りを持ち、地域に主体的に関わる児童が育つ学校

☆家庭・地域との連携を大切にし、信頼される学校

☆教職員がともに学び合う学校

### 地域に根ざした環境教育①

#### ESDの視点から実践する学習や奉仕活動

目白大学石田教授の指導による環境教育を校内で推進した。持続可能な社会の担い手を育成するために、ESDの視点やSDGsと関連させ、児童の「自分ごと化」を進めた。

校内にあるESDルームを活用し、他学年と学びを共有する交流を行った。地域の一員として、自分たちの町の状況や課題を知り、防災活動や清掃奉仕活動など、町の課題を「自分ごと」として捉え、追究する意欲が高まった。



### 大森の「歴史」「環境」の 包括的教育

- ☆海や河川の人工的な変化
- ☆東京オリンピックの開催と環境の変化
- ☆地域の産業の変容
- ☆地域の生活形態の変容

### 地域に根ざした環境教育③

#### 地域産業の伝承～大森海苔産業～

東京オリンピックの開催に伴う海岸工事により産業が途絶えた大森の海苔養殖業。校内の「海苔の資料室」や「大森海苔のふるさと館」の学芸員などから、児童が当時の漁業について伝え聞いたり、体験したりする活動を行い、「産業と環境」のかかわりについて考える。

江戸から明治期にかけて栄えた「大森麦藁細工」について、調べたり実際に作ったりし、校内展示や「ものづくり学習フォーラム」での報告をした。



大森の町に面した東京湾。地域の歴史からその環境の変遷を調べる。

第2学年では、第1学年と一緒に平和の森公園で様々な自然体験を行った。虫や、草花、魚や貝、カニなどの生態を観察したり調べたりしている。第6学年では、今の海洋環境を調査する目的でインターネットで調べるだけでなく、公園として整備された浜辺で水質調査をするなど環境に対する学習を行い、これからの生活や自分と社会とのつながりについてESD集会で発表した。

### 地域に根ざした環境教育②

#### 東京湾とふるさと浜辺公園での活動



地域の祭りの由来を調べ、先人たちの願いを知る。東京都の無形文化遺産として、あらゆる困難を乗り越えながら守られてきた700以上続く「水止舞」について学習し、地域の一員として継承者の願いに気付くことができた。

管楽器の演奏会を年間に数回実施。開校148年の歴史を誇る本校の地域力を生かし、多くの卒業生や学校を見守ってくださる地域の方々との交流を図っている。

### 地域に根ざした環境教育④

#### 貴船神社・厳正寺の祭事と地域環境の関連

